

令和元年度ユニバーサルデザインに関する職員アンケート調査結果について

1 背景・目的等

平成 29 年度から実施している、ユニバーサルデザイン（以下「UD」）に係る職員の認知度を把握する調査によると、UD に対する認知度は平成 29 年度が約 55%、平成 30 年度が 67.0%と着々と向上している。

この結果から更なる認知度向上を図るため、当課では庁内向けの普及啓発活動や手引きの作成、研修等の事業を行ってきた。

今般、当課が実施してきた事業に対する評価や、実施した事業が職員の認知度等について与えた影響について把握し、今後の事業の参考とするため、下記のとおり調査を実施した。

2 実施概要

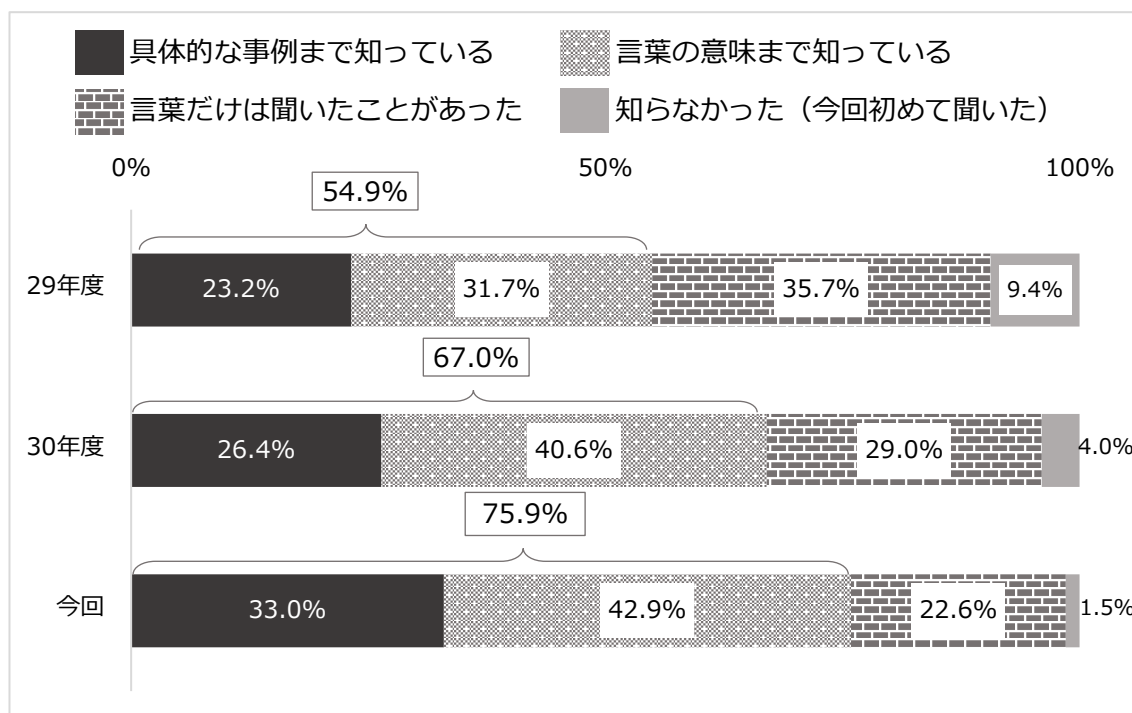
項目	内容
タイトル	ユニバーサルデザインに関する職員アンケート
対象	行政系、医療技術系職員及び幼稚園教育職員 (再任用短時間勤務職員を含む。)
配付・回収方法	WEB 回答及び書面回答 (保育園職場および福祉事務所)
調査期間	WEB 回答: 令和元年 9 月 24 日 (火) ~ 10 月 15 日 (火) 書面回答: 令和元年 9 月 24 日 (火) ~ 10 月 18 日 (金)
回収数・回答率	1,556 件 / 約 3,500 人 (約 44%) ※平成 30 年度: 1,148 件 (約 33%)
実施主体	福祉部障がい者福祉課ユニバーサルデザイン推進係
調査票構成	<p>【属性】年代・職層・職種・職務経験</p> <p>○UD の認知度 ※「具体的な事例まで知っている」または「言葉の意味まで知っている」を選択した者を対象</p> <p>○UD を知った主なきっかけ</p> <p>○多様な人に対して配慮した経験の有無 ※「特に配慮したことがない」と回答した者を対象</p> <p>○特に配慮したことがない理由</p> <p>○UD ガイドラインを読んだことの有無及び参考になった部分</p> <p>○区の UD に関する取り組みで、知っていること</p>

3 集計結果概要

(1) UD の認知度

(ア) 回答内訳

○「具体的な事例まで知っている」または「言葉の意味まで知っている」と回答した人の割合は、75.9%であった。

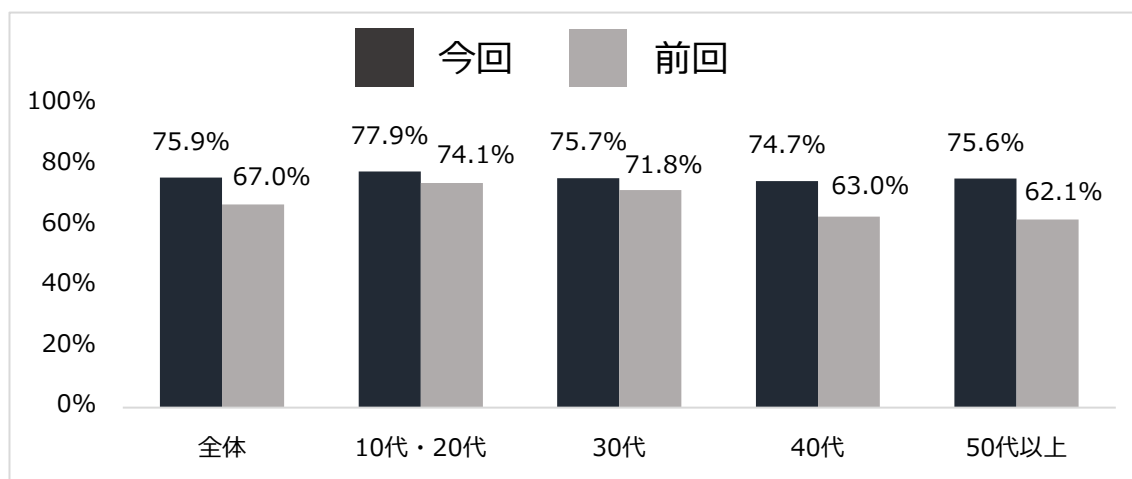


※平成 29 年度に区民の「具体的な事例まで知っている」または「言葉の意味まで知っている」と回答した人の割合は、26.2%であった。

(イ) 年代別内訳

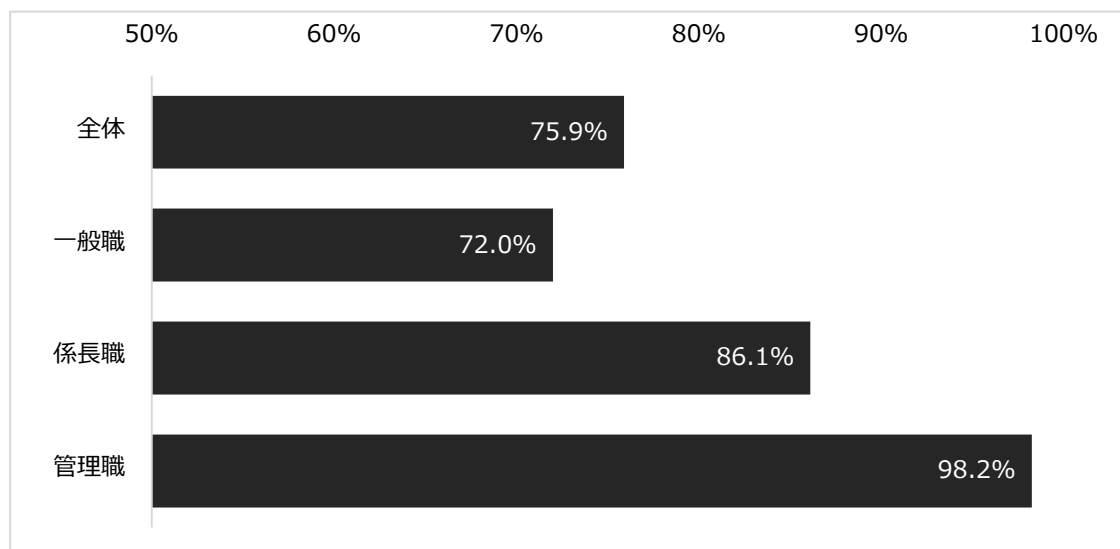
○「具体的な事例まで知っている」または「言葉の意味まで知っている」の回答を、年代別に比較した。

○前回と比較して、すべての年代で認知度が向上した。



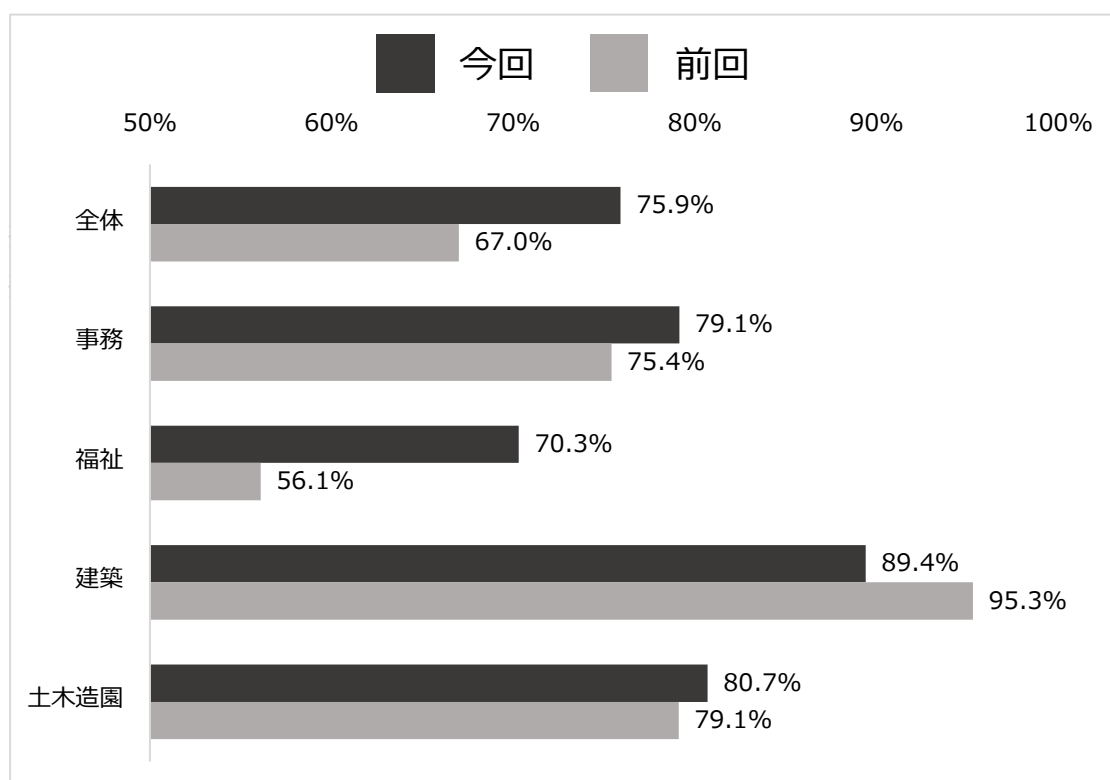
(ウ) 職層別内訳

- 「具体的な事例まで知っている」または「言葉の意味まで知っている」の回答を、職層別に比較した。
- 係長職（86.1%）および管理職（98.2%）は、全体の認知度よりも高い結果となった。



(工) 職種別内訳

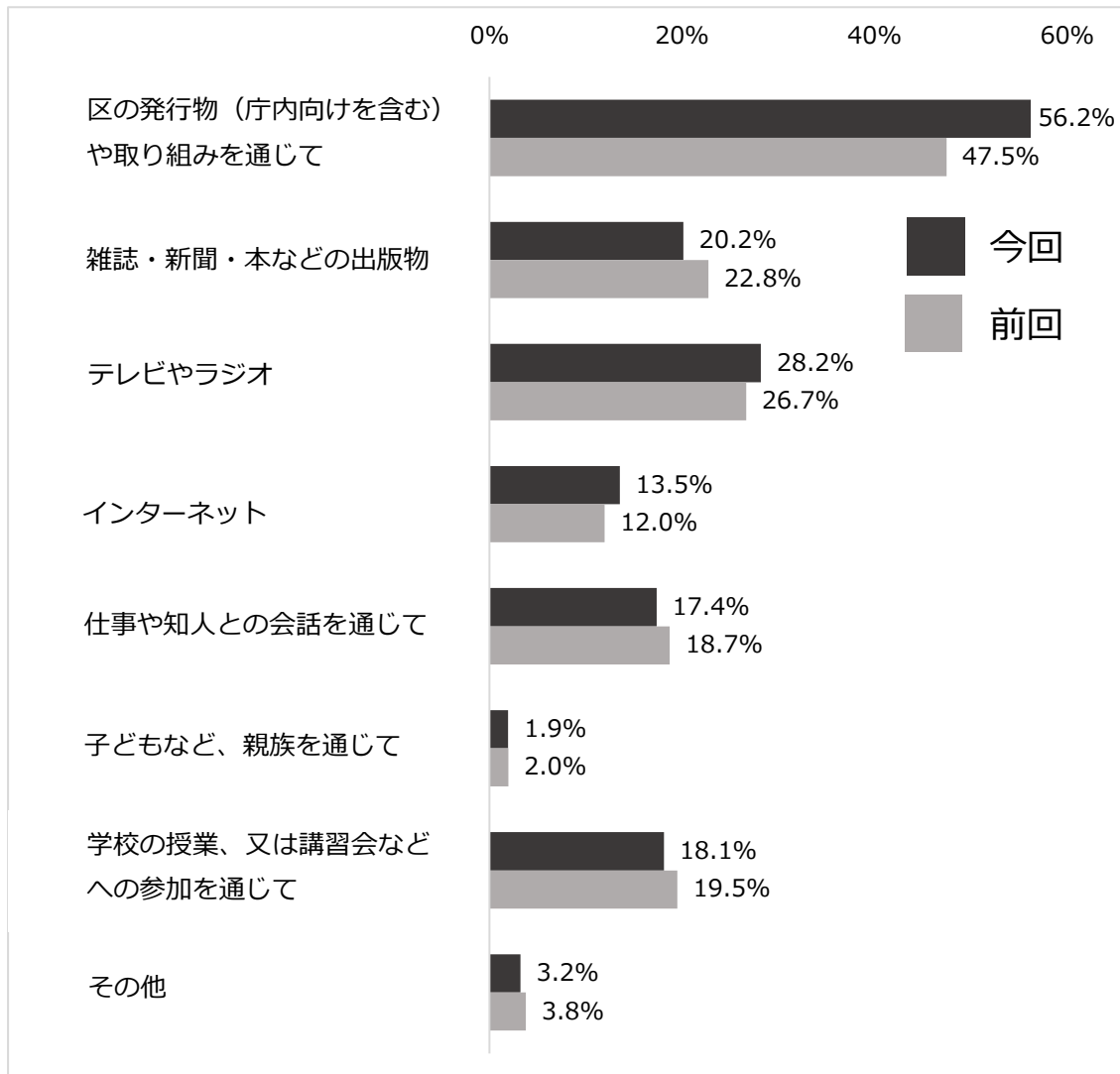
- 「具体的な事例まで知っている」または「言葉の意味まで知っている」の回答を、職種別に比較した。
- 前回調査と比較して、特に福祉（70.3%）の認知度が14.2%向上した。



(2) UD を知ったきっかけ(回答は2 つまで)

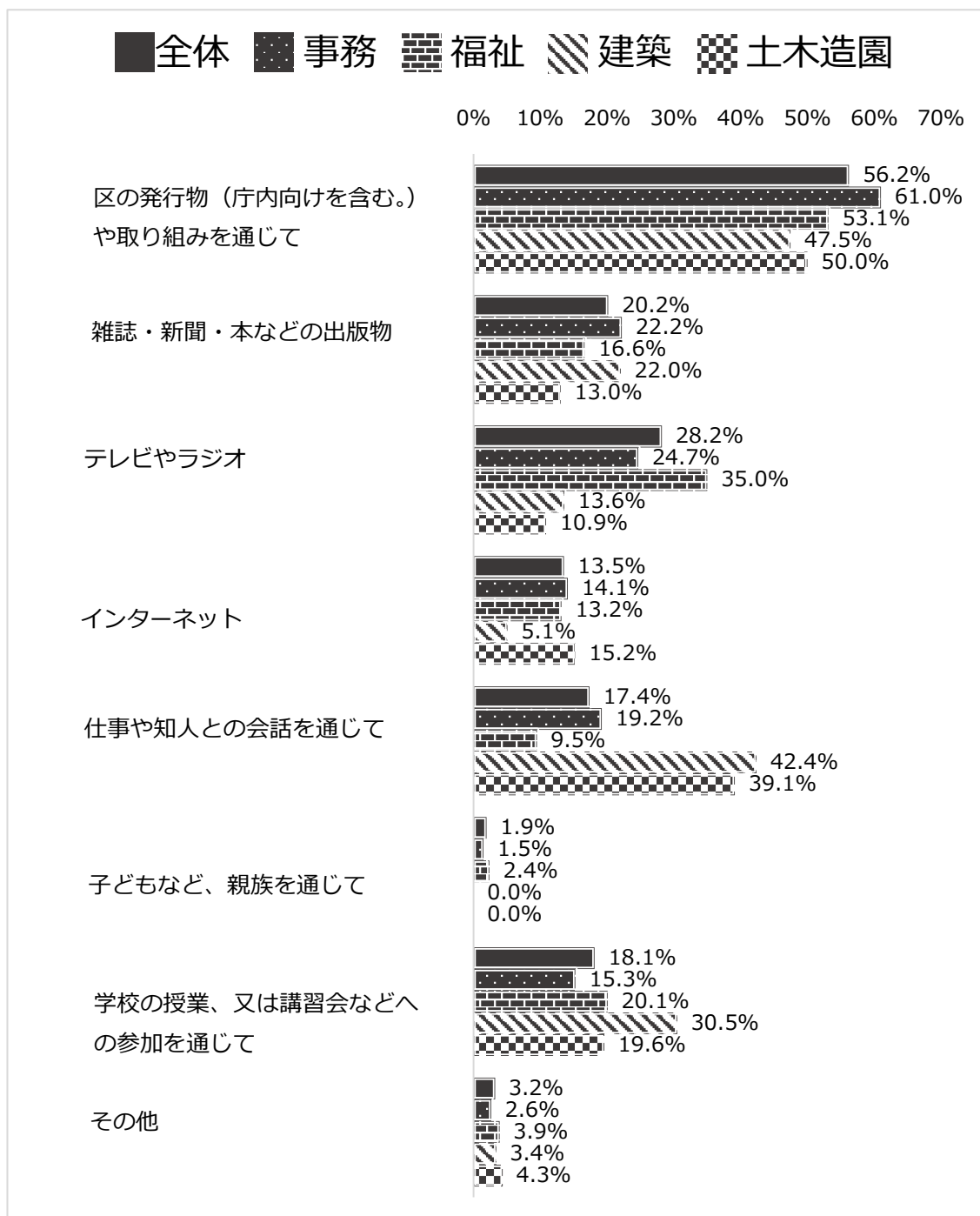
(ア) 回答内訳

- 「区の発行物（庁内向けを含む。）や取り組みを通じて」（56.2%）、「テレビやラジオ」（28.2%）、「雑誌・新聞・本などの出版物」（20.2%）の順で回答した人の割合が多い。
- 前回調査と比較して、「区の発行物（庁内向けを含む。）や取り組みを通じて」の割合が9%ほど高くなった。



(イ) 職種別比較

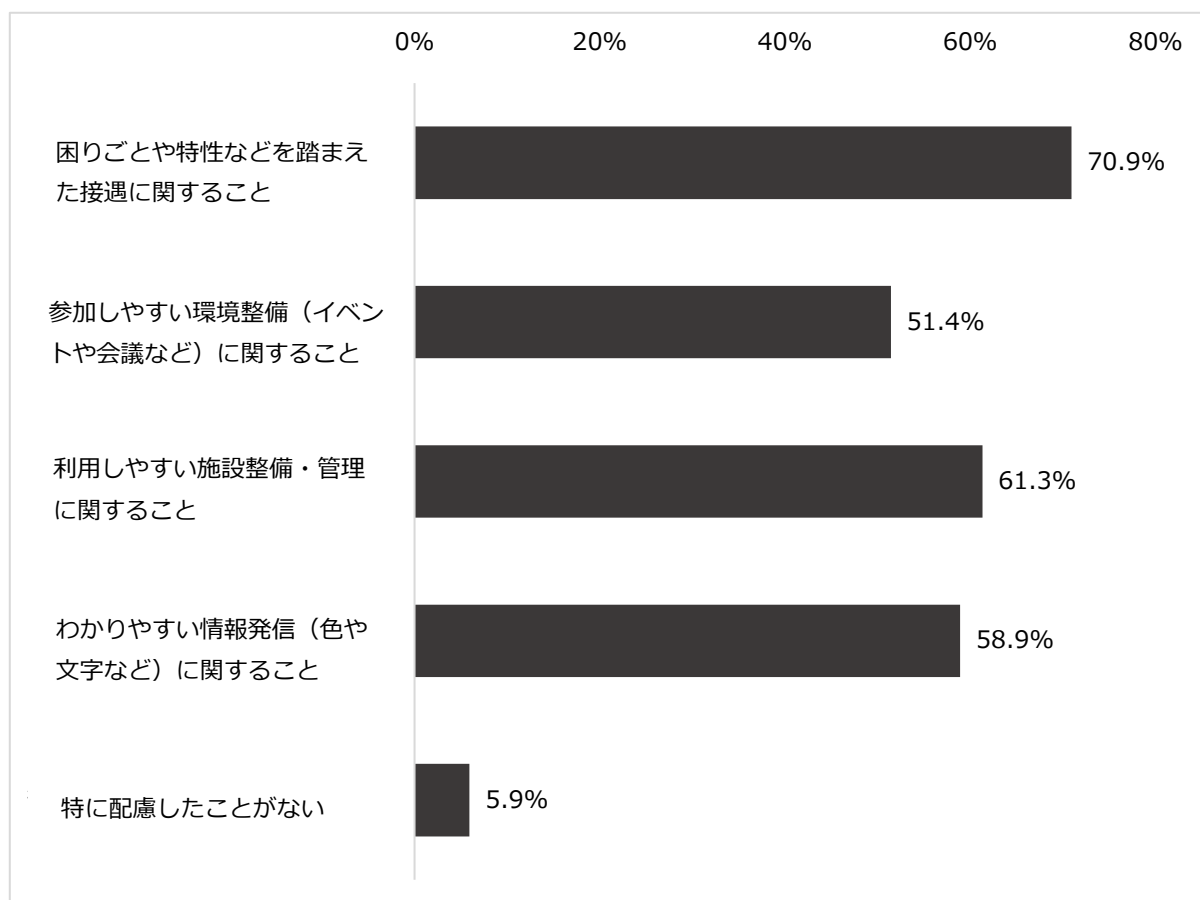
- 「区の発行物（庁内向けを含む。）や取り組みを通じて」と回答した人の割合は、どの職種においても1番高い。
- 「仕事や知人との会話を通じて」と回答した人の割合は、建築(42.4%)および土木造園(39.1%)が全体よりも高い。一方、福祉は全体よりも低い(9.5%)。
- 「学校の授業、又は講習会などへの参加を通じて」と回答した人の割合は、福祉(20.1%)、建築(30.5%)および土木造園(19.6%)が全体よりも高い。



(3) 多様な人に対して配慮した経験の有無（複数回答）

(ア) 回答内訳

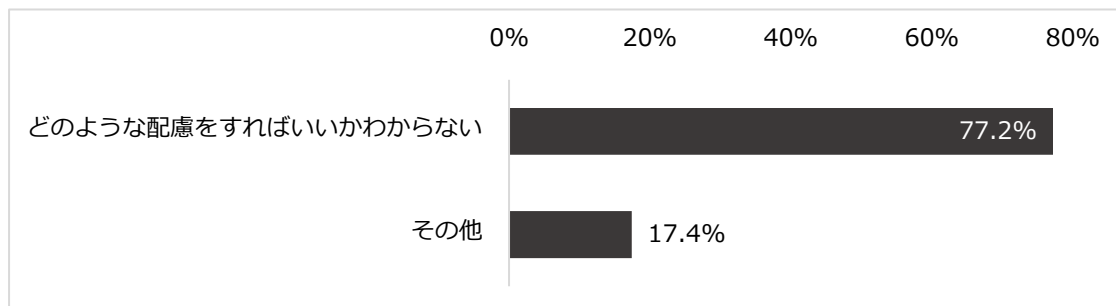
- 「区民等に対する職場・出先などでの接客応対」を経験している職員のうち、「困りごとや特性などを踏まえた接遇に関すること」と回答した割合は70.9%であった。
- 「区民等が参加するイベントや会議などの開催」を経験している職員のうち、「参加しやすい環境整備（イベントや会議など）に関すること」と回答した割合は51.4%であった。
- 「区民等が利用する施設の設計・工事や管理・運営」を経験している職員のうち、「利用しやすい施設整備・管理に関すること」と回答した割合は61.3%であった。
- 「区民等に対し、文書、チラシ、ホームページなどを使った情報発信」を経験している職員のうち、「わかりやすい情報発信（色や文字など）に関すること」と回答した割合は58.9%であった。
- 「特に配慮したことがない」と回答した割合は5.9%であった。



(4) 特に配慮したことがない理由

(ア) 回答内訳

○「特に配慮をしたことがない」と回答した人のうち、その理由として、どのような配慮をすればいいかわからないと回答した割合は77.2%であった。



(イ) その他回答の内訳

○配慮した経験がない、配慮する機会がないといった回答があった。

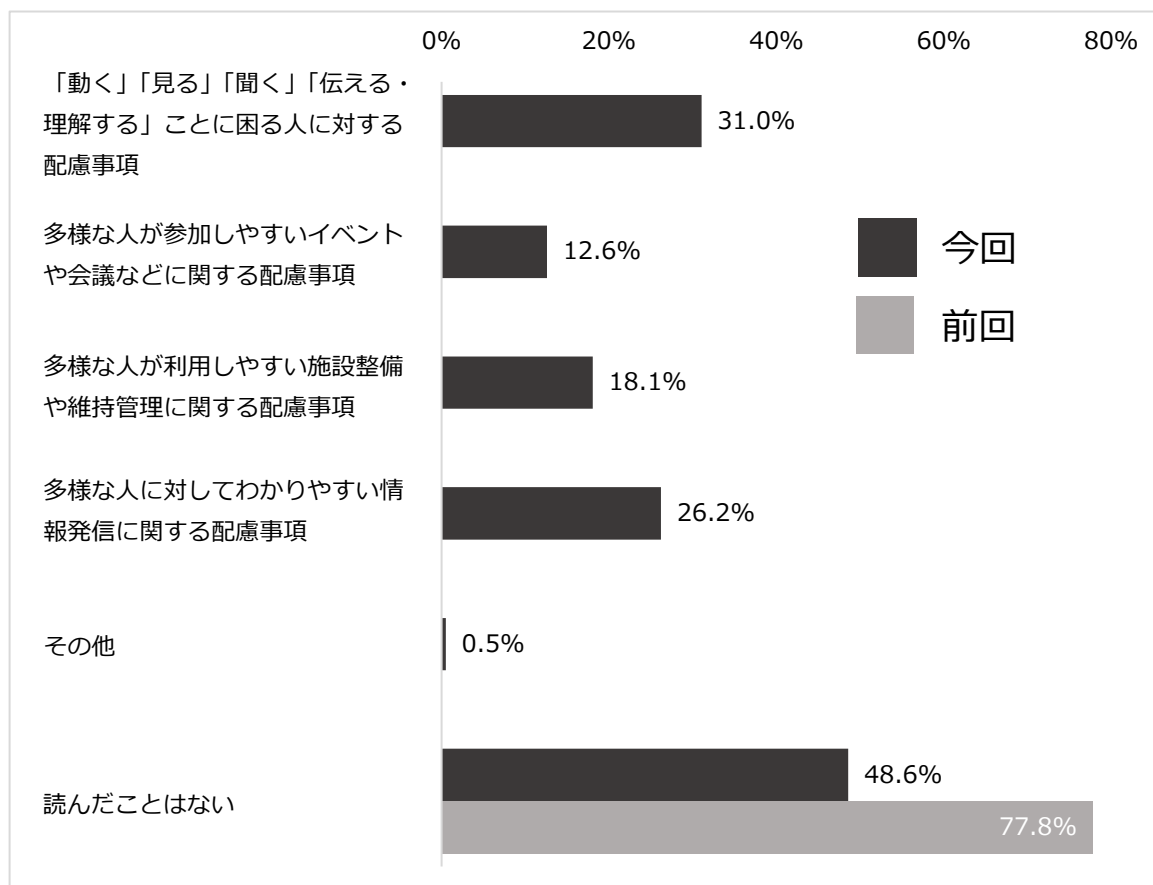
(5) UDガイドラインを読んだことの有無および参考になった部分

(ア) 回答内訳

○読んだことはないが最も多い(48.6%)。

○一方、前回と比較すると、30%以上読んだことがない割合が減った。

※前はUDガイドラインを読んだことの有無を調査



(6) 区のUDに関する取り組みで、知っていること

(ア) 回答内訳

○前回と比較すると、すべての取り組みの割合が高くなった。

○ないと回答した割合は 22.8%であり、前年と比較すると約 12%減少した。

